



これがスピードメモ法を見つけ出した最初でした。この日は私の誕生日、八月十二日だったと思うのです。私が速書き運動に夢中になっていたので、両親が助けてくれたものと今も感銘を深くしているのです。横内課長さんが東京の本庁に通知するといわれなかったらこのことを見つけ出せなかったかも知れないので、横内課長さんは私の恩人だと思っています。

日本には「カナモジ会」というのがあり、日本語を全部カタカナで書くようにしようという会です。カタカナとひらがなの優劣を調べ、カタカナがよい、ひらがなはいらぬ、名前は「カナモジ会」であるが、実質は「カタカナモジ会」です。それから「ローマ字会」というのがあって、漢字もかなもいらぬ、日本語は全部国際的なローマ字で書くようにしようという会です。日本の将来、そういう表音文字時代になるときが来るならば、そういうカタカナや、ローマ字で書くようなことはないと思うのです。交通を「こうつう」、「コウツウ」、「KOTSU」などと書くのがスピードメモ法では「こつ」と書けばすむので、表音文字時代が来るならば必ず両方のかなを読み分けて使う書き方になると思うのです。